

大洲

2011

3

No.74

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

題字：大洲南中学校3年（現大洲高等学校1年） 河内 望さん

- ☆第1回大洲市議会臨時会 …………… P 2～3
- ☆平成22年度成人式 …………… P 4
- ☆大洲市きらめき大賞表彰式 …………… P 5
- ☆引越しの手続きについて …………… P 12～14



2月6日(日)、第28回大洲市健康マラソン大会が開催されました。
(関連記事を17ページに掲載)



第1回大洲市議会 臨時会開会

平成23年第1回大洲市議会臨時会が、1月20日(木)に開かれました。
今回の議会では、平成22年度大洲市一般会計補正予算など予算関係2件、大洲市住民生活に光をそそぐ基金条例の制定など条例関係2件、あわせて4議案がいずれも原案のとおり可決されました。

市長の議案提案内容

(要旨)

政府は、デフレ脱却と景気の自律的回復に向けた道筋を確かなものとしていくために、平成23年度までの政策展開を定めた「新成長戦略実現に向けた3段階構えの経済対策」を昨年9月10日に決定されました。

これを受けて「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」が10月8日に閣議決定されました。地域経済・中小企業を巡る環境は引き続き厳しい状況にあり、新成長戦略の前倒し、安心して地域生活を送るためのインフラ整備を実施するとともに、地域の雇用を支える中小企業支援を含めた地域活性化を図ることとされてきて、この「円高・デフレ対応のための緊急総合経

済対策」を盛り込んだ補正予算が11月26日に成立しました。

それを受けて、地方自治体にもこの緊急総合経済対策の趣旨に沿ったきめ細かなインフラ整備などにより、地元の中小企業・零細事業者の受注拡大に努め、積極的に地域活性化に資する事業の速やかで着実な実施が期待されています。

このため、国の補正予算に盛り込まれた地域活性化交付金等事業を積極的に活用するため補正予算を編成したものです。
地域活性化交付金のうち、きめ細かな交付金充当事業については、緊急総合経済対策の趣旨に沿った地域の活性化のために必要な幅広い事業を進める地方自治体に対し交付されることとなっていて、本市には2億1776万2千円が交付予定

土木費

- 道路橋りょうの維持修繕および道路改良舗装を実施します。 7,305万円

消防費

- 市防災行政無線と消防指令台の接続を実施し、緊急放送の連携を図ります。 3,860万円

教育費

- 公民館の施設、設備の改修更新を行います。 1,890万円
- 小中学校の図書を購入するとともに、図書室の本棚を増設し、教育環境の充実を図ります。 626万円

総務費

- 市内中心部の乗換拠点として、バス待合所をオズメッセ内に整備します。 483万円

衛生費

- 子宮頸がんなどの予防ワクチン接種を支援します。 837万円
- 肱川浄苑の改修工事を実施します。 1,687万円

農林水産業費

- 三善地区と三久保地区の揚水施設を更新します。 909万円

商工費

- 臥龍山荘およびおおず赤煉瓦館の改修工事を実施します。 314万円

大洲市議会臨時会開会・地上デジタル放送

となつています。この貴重な財源を活用し、地域の活性化や懸案事項となつている事業を前倒しして取り組むことにしました。

主な事業としては、道路橋りょうの維持修繕、改良舗装事業をはじめ、バス待合施設整備、肱川静浄苑改修、公民館や観光施設など公共施設の改修工事、簡易水道施設改良事業など計21事業で2億7400万円の予算を計上しています。

次に、住民生活に光をそぐ交付金充当事業について、これまで住民生活にとって大事な分野でありながら、光が十分当てられてこなかった分野に対する地方の取り組みを支援するため交付されるもので、地方消費者行政、DV対策や自殺予防などの弱者対策と自立支援、知の地域づくりといった三つの分野に限定した取り組みに対する交付金です。主な事業としては、消費生活センター相談・啓発強化、児童虐待防止対策および外出支援サービス事業に係る公用車購入をはじめ、小中学校図書整備、文化研修センターで実施しているパソコン講習の機器類の更新、地域の雇用拡大につながる事業の財源としての

基金造成などで、計14事業で1億8500万円の予算を計上しました。これに関する交付予定額としては、6540万円を見込んでいます。

また、これら交付金充当事業のほかに、学校施設の耐震改修や農業施設の改修事業費、子宮頸がん等ワクチン接種支援事業費などに對して、国や県からの補助金が交付されることになりましたので関係経費を予算に計上しています。

以上が、一般会計補正予算案の歳出の主なものです。その財源には、国・県支出金、地方交付税、市債などをもって充てることにしました。

続いて、平成22年度大洲市簡易水道事業特別会計補正予算については、きめ細かな交付金を財源とした一般会計からの繰出金を受け入れ、簡易水道施設の改修工事費などを計上したものです。

次に、大洲市住民生活に光をそぐ基金条例の制定については、住民生活に光をそぐ交付金に基づく基金を設置するために制定するものですが、この交付金の対象となる分野に関する地域の雇用拡大につながる

事業に継続的に取り組むための財源確保を目的とした基金積立としています。

なお、取り組み強化を図る事業としては、精神障害者相談支援体制整備事業、消費生活センター相談啓発強化事業、小学校統廃合に伴うメンタルサポーター設置事業を予定しています。

大洲市地域対策事業分担金徴収条例の一部改正については、国の緊急総合経済対策に伴う農業活性化緊急基盤整備事業により、農業用水利施設の改修を実施することとしていますが、受益者負担として分担金を徴収するため、条例の一部を改正しようとするものです。

【補正予算の概要】

一般会計の補正予算額は、5億7693万4千円で、これにより本年度の一般会計予算累計額は、257億8846万5千円となり、前年度同期予算と比較すると0・8%の減となります。また、一般会計、特別会計および企業会計を合わせた全会計の累計額は、439億4007万1千円となり、前年度同期予算と比較すると、2・2%の減となります。

地上デジタル放送視聴のための

低所得世帯への支援について

総務省では、経済的な理由で地上デジタル放送をまだ視聴できない低所得の世帯に對して、支援を行っています。対象となる世帯や支援内容は次のとおりです。

2 市町村民税非課税世帯への支援

《支援の対象》
まだ地上デジタル放送に對應できず、「世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯」が対象です。（NHKとの放送受信契約が必要です。）

《支援の内容》
地上デジタル放送対応の簡易チューナー（1台）を無償給付します。また、チューナーの設置方法や操作方法を電話でサポートします。（チューナーの訪問設置、アンテナの改修などは行いません。）

《支援の対象》
まだ地上デジタル放送に對應できず、
(1)生活保護などの公的扶助を受けている世帯
(2)障害を持つ人がいる世帯
で、世帯全員が市町村民税非課税の世帯

《支援の内容》
地上デジタル放送対応の簡易チューナー（1台）を無償給付します。また、チューナーの設置方法や操作方法を電話でサポートします。（チューナーの訪問設置、アンテナの改修などは行いません。）

(3)社会福祉施設に入所している世帯
のいずれかに該当し、NHK放送受信料が全額免除の世帯が対象です。

《問い合わせ先》
NHK放送受信料全額免除世帯への支援
・総務省地デジチューナー支援実施センター
☎0570・033840

《支援の内容》
地上デジタル放送対応の簡易チューナー（1台）を無償給付し、対象世帯を訪問してチューナーの設置を行います。アンテナの改修などが必要な場合は無償で工事を行います。

《問い合わせ先》
社会福祉課
☎242111

生活保護係（内線182）
障害福祉係（内線173）
市町村民税非課税世帯への支援
・総務省地デジチューナー支援実施センター
☎0570・023724

企画調整課企画係
☎242111（内線523）